

# 平成30年度決算について

当初 205 億円でスタートした予算は、6 回の補正を行い、19 億 5,427 万 6 千円を増額し、また前年度からの繰越額 6 億 1,352 万円を加え、最終的には、230 億 6,779 万 6 千円となりました。

こうした財政状況の中、『幸福度日本一のまちづくり』を目指し、「歳入に見合った歳出構造」、「選択と集中」の考えのもと、施策の積極的かつ効率的な推進に努めました。

結果、前年度に比べ、歳入決算額は 2 億 4,171 万 7 千円の減少、歳出決算額は 3 億 8,637 万 7 千円の減少となりました。本年度の特徴として、市債発行額の抑制や普通交付税の合併算定替による段階的な縮減の影響等により歳入が減少しましたが、新所原駅周辺まちづくり事業や大倉戸茶屋松線整備事業、津波避難施設整備事業などを着実に実施するとともに、「職住近接」をキーワードにした子育て支援事業や人口減少対策事業を推進しました。

## I 決算の状況

### 1. 決算規模

平成 30 年度の一般会計は、

歳入 215 億 5,439 万 8 千円(前年度 217 億 9,611 万 5 千円)

歳出 199 億 6,157 万 6 千円(前年度 203 億 4,795 万 3 千円)

となり、前年度に比べ歳入 1.1%の減少、歳出 1.9%の減少となりました。

歳入歳出差引額(形式収支) 15 億 9,282 万 2 千円から、繰越明許費の翌年度へ繰り越すべき財源 2 億 2,823 万 9 千円を差し引いた実質収支は、13 億 6,458 万 3 千円で、単年度収支は、1,911 万 3 千円となりました。

表-1 最近5か年の収支状況

(単位：千円)

区 分	H 26年度	H 27年度	H 28年度	H 29年度	H 30年度
歳入決算額	23,928,626	22,447,488	22,351,522	21,796,115	21,554,398
歳出決算額	22,612,342	21,061,061	21,237,800	20,347,953	19,961,576
歳入歳出差引額 (形式収支)	1,316,284	1,386,427	1,113,722	1,448,162	1,592,822
翌年度へ繰り越 すべき財源	88,029	79,620	104,889	102,692	228,239
実質収支	1,228,255	1,306,807	1,008,833	1,345,470	1,364,583
単年度収支	▲ 48,024	78,552	▲ 297,974	336,637	19,113
積立金	862	1,066	658	319	269
繰上償還金	0	0	0	0	0
積立金取崩し	376,706	92,384	104,189	313,443	630,000
実質単年度収支	▲ 423,868	▲ 12,766	▲ 401,505	23,513	▲ 610,618